

令和4年 厚木基地に関する主なできごと

月 日	内 容
1月11日	<p>神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）構成県市が国に対し、在日米軍における新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要請を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 米軍関係者に対し、入国時の感染症検査の徹底、14日間の移動制限期間中の基地内での行動制限強化、感染者への医療的管理下での隔離の徹底等、日本への入国者の感染防止対策に万全を期すこと。 2. 当面の間、米軍関係者の日本への入国を最小限にすること。 3. 当面の間、感染者は発生している在日米軍基地から他の在日米軍基地への移動および基地からの外出を、原則として禁止とすること。 4. 米軍関係者の感染者について、オミクロン株の検査が確実にできるよう、日米両国政府の責任において必要な措置を講じること。 5. 在日米軍の感染者数等に関する情報について、感染状況に応じて速やかに公表すること。 6. 日米合同委員会合意に基づく感染症に関する衛生当局間の情報提供については、迅速かつ的確に行うこと。 7. 定期検査の実施など、駐留軍等労働者の感染防止対策に万全を期すこと。 <p>2 要請先 外務大臣、防衛大臣</p>
	<p>神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）構成県市が国に対し、在日米軍における新型コロナウイルス感染症対策に関する要請を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 米軍関係者の入国時の水際対策については、入国時の検査方法を含め、常に日本政府の方針と整合的な措置の実施を求め、変更がある場合には公表すること。また、各基地においては、周辺自治体が講じる措置を考慮した対応を継続するよう、米側に働きかけること。 2. 日米合同委員会の下に新たに設置された「検疫・保健分科委員会」の協議結果が、各基地における対策に確実に反映されるよう取り決めること。また、協議内容をできる限り公表すること。 3. 在日米軍の感染者数については、適切な公表を継続するよう求めること。また、日米合同委員会合意に基づく衛生当局間の情報提供は、引き続き迅速かつ的確に行うよう求めること。 4. 駐留軍等労働者の感染防止対策に関しては、日米両国政府の責任において定期検査を実施する等、万全を期すこと。また、米軍による希望者へのワクチン接種については、関係自治体に確実に情報提供するとともに、接種者が不利益を被ることがないように日米両国政府の責任において適切な対応を行うこと。 <p>2 要請先 外務大臣、防衛大臣</p>
5月4日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練を実施する旨の通告が、防衛省南関東防衛局から次のとおりありました。</p> <p>1 米空母艦載機着陸訓練（FCLP）は、空母ロナルド・レーガンが一定期間、横須賀に寄港した後、運用を再開するに先だって行われるもので、パイロットが空母へ着艦する資格を取得するために必要不可欠な訓練です。この訓練の実施は、地域における日米の抑止力・対処力を維持・強化するため、非常に重要な意義があります。</p> <p>2 着陸訓練概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練期間：5月6日 金曜日 から 5月25日 水曜日 11時00分 から 翌03時00分 まで （当該期間中、訓練は10日間程度） ・訓練機種：空母ロナルド・レーガン艦載固定翼機全機種（FA-18E、FA-18F、EA-18G、E-2D、C-2A） <p>3 なお、天候又は不測の事態により、硫黄島における所要の訓練を実施できない場合には、次の一部または全部の飛行場において訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三沢飛行場 ・横田飛行場 ・厚木飛行場 ・岩国飛行場

	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練期間：5月10日 火曜日 から 5月13日 金曜日 まで ・訓練時間：10時00分 から 22時00分 まで <p>防衛省としては、できる限り硫黄島で訓練を実施するよう申し入れます。</p>
5月6日	<p>空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、神奈川県知事及び厚木基地周辺9市（海老名市、大和市、綾瀬市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、座間市、横浜市、町田市）長の連名で防衛大臣宛、次のとおり要請活動を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月4日、防衛省から、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、通告があった。 ・最近では、平成29年9月に、厚木基地において空母艦載機による着陸訓練が実施され、深刻な騒音被害が発生した。その際、我々は、二度と着陸訓練を厚木基地で行うことのないよう、強く要請したところ。 ・長年にわたり基地周辺住民が待ち望んできた空母艦載機移駐が実現した後に、万が一にも着陸訓練が実施され、再び深刻な騒音被害がもたらされることは、到底容認することはできない。 ・貴職におかれては、訓練環境を整備するとともに、硫黄島での十分な予備日を設定するなど、米側との調整などに万全を期し、天候等の事情に関わらず全ての空母艦載機着陸訓練を硫黄島で実施し、厚木基地での着陸訓練を決して行わないことを強く求める。 <p>2 要請先及び要請結果</p> <p>県参事監兼基地対策部長及び厚木基地周辺9市の基地対策所管課長等が南関東防衛局に持参。</p> <p>【南関東防衛局回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今般、在日米軍から空母艦載機着陸訓練（FCLP）実施の通知があり、各自治体に情報提供を行った。今後も米側から情報が得られた際には速やかに情報提供を行う。 ・一昨日、南関東防衛局から在日米海軍司令部に対し、すべての訓練を硫黄島で実施するよう要請した。また、天候等の事情により硫黄島で実施できない場合でも厚木基地での訓練は差し控えるよう求めた。
5月9日	<p>空母ロナルド・レーガンが横須賀基地を出港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母ロナルド・レーガンが5月8日（日曜日）10時07分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
5月17日	<p>空母ロナルド・レーガンが横須賀基地に入港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母ロナルド・レーガンが5月17日（火曜日）11時25分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
5月20日	<p>空母ロナルド・レーガンが横須賀基地を出港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母ロナルド・レーガンが5月20日（金曜日）10時17分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
5月23日	<p>空母エイブラハム・リンカーンが横須賀基地に入港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母エイブラハム・リンカーンが5月21日（土曜日）10時33分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
5月26日	<p>空母エイブラハム・リンカーンが横須賀基地を出港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母エイブラハム・リンカーンが5月26日（木曜日）10時14分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
7月20日	<p>神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）構成県市が国に対し、米軍基地における有機フッ素化合物（PFOS等）に関する要請を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 横須賀基地を含む県内の全ての米軍基地におけるPFOS等を含む製品の保管・使用状況を公表するとともに、関係自治体に情報提供をすること。 2. 県内の全ての米軍基地において保管・使用しているPFOS等を含む製品については、代替品への交換を早急に完了するとともに、交換が終わるまでの間、漏出防止など安全対策に万全を期すこと。 3. 県内の全ての米軍基地における環境に影響を及ぼす事故については、速やかに国として公表するとともに、関係自治体あてに情報提供をすること。また、その後の対応状況等についても適時適切に情報提供を行うこと。

	<p>4. 米海軍横須賀基地での PFOS 等の検出事案については、日米両国の責任において、早急な原因究明を行うとともに適切な再発防止策をとること。</p> <p>また、日米両国の責任において、米海軍基地横須賀周辺の PFOS 等に関する影響調査を実施し、調査結果に応じて、汚染物質の除去等の必要な対策をとること。</p> <p>更に、今後、自治体として立入り調査等が必要と判断した場合には、円滑な調査の実施等に全面的に協力すること。</p> <p>2 要請先 外務大臣、防衛大臣</p>
8月9日	<p>神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）構成県市が国に対し、要望活動を行いました。</p> <p>1 要望内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 米軍基地の整理・縮小・早期返還の推進について 2. 厚木基地における航空機騒音の解消について 3. 米軍原子力艦の事故による原子力災害対策の強化充実について 4. 日米地位協定の見直し及び運用の適切な改善について 5. 住宅防音工事など、騒音対策の充実について 6. 国による財政的措置及び各種支援策の充実について <p>2 要請先 外務省、防衛省、内閣官房、内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、環境省、原子力規制庁</p>
8月19日	<p>空母ロナルド・レーガンが横須賀基地に入港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母ロナルド・レーガンが8月19日（金曜日）9時39分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>
9月12日	<p>空母ロナルド・レーガンが横須賀基地を出港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母ロナルド・レーガンが9月12日（月曜日）16時43分に横須賀基地を出港したとの連絡が入りました。</p>
10月3日	<p>神奈川県基地関係県市連絡協議会（県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、逗子市、大和市、座間市、綾瀬市で構成）構成県市が国に対し、米軍基地における有機フッ素化合物（PFOS 等）に関する緊急要請を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 横須賀基地の PFOS 等流出について、早急に原因究明を行い、汚染物質の徹底的な除去や施設の改修など抜本的な対策を講じること。 また、抜本的な対策が実現するまでの間も、可能な限りの対策を早急に講じること。 2. 厚木基地の PFOS 等流出について、流出量などの詳細を早急に公表するとともに、更なる流出が生じないように、万全の対策を講じること。 3. 現在、自治体が国に対して求めている環境補足協定に基づく立入調査について、早急に実現すること。 4. 厚木基地をはじめ、PFOS 等を含む製品の代替品への交換が終わっていない基地については、早急に代替品への交換を完了すること。 また、交換までの間は、漏出防止など安全対策に万全を期すこと。 5. PFOS 等を含む製品の代替品への交換が終わっている基地を含め、早急に使用・保管状況等を精査し、その結果を公表するとともに、PFOS 等が残留している可能性がある場所があれば、土壌や水質の調査を行うこと。 6. 日米両国政府が協力して、基地内外の PFOS 等の継続的な監視体制を構築し、定期的に行う検査結果について情報を公表すること。 <p>2 要請先 外務大臣、防衛大臣</p>
11月1日	<p>厚木基地騒音対策協議会（神奈川県、海老名市、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、座間市、綾瀬市、東京都町田市で構成）が厚木基地における米空母艦載機の航空機騒音の解消等に関する要請を行いました。</p> <p>1 要請内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空母艦載機着陸訓練を硫黄島で全面実施すること 2. 恒常的訓練施設を確保すること 3. 厚木基地の運用、騒音状況等についての情報提供を行うこと

	<p>2 要請先 内閣総理大臣、財務大臣、外務大臣、防衛大臣、駐日米国大使、在日米軍司令官、第7艦隊司令官、 在日米海軍司令官、厚木航空施設司令官、第5空母航空団司令官</p>
12月16日	<p>空母ロナルド・レーガンが横須賀基地に入港しました。</p> <p>神奈川県政策局基地対策部基地対策課より空母ロナルド・レーガンが12月16日（金曜日）9時18分に横須賀基地に入港したとの連絡が入りました。</p>